

ザ・特定行為実践

第14号
2024年3月 作成
特定行為研修室 発行
森永:PHS3126

浅野 太志：所属部署 手術室



修了した特定行為【術中麻酔管理領域】

研修：
2023年9月修了

呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は、経鼻用気管チューブの位置調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

昨年、特定行為研修 春コース『術中麻酔管理領域パッケージ』を受講し、6区分8行為の特定行為研修を修了しました。 術中麻酔領域の特定行為では麻酔中の患者さんの呼吸器管理、輸液管理、Aラインの確保、硬膜外カテーテルからの鎮痛管理など、麻酔科医からの手順書に基づき特定行為を実践します。

患者変化が大きくあわただしい麻酔管理では、麻酔科医師・特定看護師が協働し行うことで、麻酔導入といった患者が不安定になる時期をできる限り早く脱し、安全面への寄与や患者侵襲の低減など、患者の早期回復に貢献できればと考えています。

今後は、術中麻酔管理の補助にとどまらず、術前外来、術後疼痛管理など、周術期を通して麻酔科医と協働して周術期にある患者さんが安全に、そして安心して手術を受けられるように活動を行っていきたいと考えています。



麻酔維持管理を担当中
医師のタスクシフトにも貢献！

基本的に、**所属部署の業務フィールド内・通常勤務時間**に特定行為研修で学んだことを活用し、特定行為実践に取り組んでいます。今後ともご支援宜しくお願い致します。
特定行為研修修了看護師について、何かご質問等がありましたら、森永までご連絡ください。